

「ふるさと愛」あふれる

「地域社会」の実現を目指して



播磨町長

清水ひろ子

初春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

「令和」として初めての年始めとなります。新たな時代の息吹を感じながらの年頭は、例年とはまた違った思いで迎えられた方も多いのではないのでしょうか。『れいわ』という美しい響きとともに始まった新しい時代ですが、昨年は8か月ほどの間に、各地でさまざまな出来事が起こりました。現代社会が抱える問題や課題を改めて浮き彫りにしたものであったように思います。

播磨町におきましても、年々都市化が進む中で、地域環境、生活環境は少しずつ変化してきております。対応すべき事業も複雑化してきており、より丁寧な行政サービスが必要になってきていると感じております。

そうした中で、最近行った中学生へのアンケート調査結果では、「ずっと住み続けたい」「播磨町外に出ると思うが、いずれは戻ってきたい」というお答えを多くいただきました。持続できる自治体として、子供たちの「ふるさと愛」の醸成、将来の「ふるさと回帰」を願って実施してきた施策や、家族・地域の温かい見守りが浸透してきているのであれば、うれしく思います。

これからも多くの方々のご協力とご尽力をいただいで、安全で安心して暮らせる「ふるさと愛」に満ちた「まち」「地域社会」の実現を目指してまいります。と思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

真に住民に寄り添った議会として



播磨町議会議長

神吉 史久

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。昨年は、五月に新天皇が即位され、年号が「平成」から「令和」になり、我が国にとって大きな変革の年となりました。播磨町議会にとりましても四月の選挙を経ての新たなスタートの年でございました。

昨年の度重なる台風被害など、近年日本各地で自然災害が発生しており、防災・減災が大きな課題となっております。また今年度は、阪神淡路大震災から25年の節目を迎える年でもあります。震災の経験と教訓を生かし、安全・安心なまちづくりに向けて引き続き取り組む必要があります。

播磨町議会は、真に住民に寄り添った議会として、住民福祉の向上と播磨町の発展のために努めてまいります。つきましては、引き続き議会に対してご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

新たな年号「令和」で迎えたこの年が、皆様にとりまして希望に満ちた年になりますことを心より祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

あけまして
おめでとう
ございます

議長 神吉史久
副議長 岡田千賀子
議員(議席順)

野北知見
松岡光子
宮宅 良

大北良子
香田永明
大瀧金三

木村晴恵
松下嘉城
河野照代

藤原秀策
奥田俊則
藤田 博



公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。ご理解とご協力をお願いします。

